

等級別基準職務表及び等級ごとの職員数

(平成29年4月1日現在)

【行政職給料表】

等級	基準となる職務	合 計		内 訳		職制上の段階		
		人数	%	職名	人数	人数	%	段階
1級	(1) 主事補又は技師補の職務 (2) 主事又は技師の職務	34	17.0	主事補	12	80	40.0	係員級
				技師補	3			
				主事	18			
				技師	1			
2級	困難な業務を分掌する主事又は技師の職務	46	23.0	主事	36			
				技師	10			
3級	主査の職務	40	20.0	主査	40	65	32.5	係長級
4級	(1) 係長又は副主幹の職務 (2) 統括主査の職務	40	20.0	係長	16			
				統括主査	9			
				副主幹	15	38	19.0	課長補佐級
				副主幹	15			
5級	(1) 課長補佐又は主幹の職務 (2) 困難な業務を分掌する副主幹の職務	24	12.0	課長補佐	20			
				主幹	1			
6級	(1) 課長、室長及び事務局長の職務 (2) 会計管理者の職務	16	8.0	課長	13	17	8.5	課長級
				室長	0			
				事務局長	2			
				会計管理者	1			
合 計		200	100.0		200	200	100.0	

【技能労務職給料表】

等級	基準となる職務	合 計		内 訳		職制上の段階		
		人数	%	職名	人数	人数	%	段階
1級	労務職員の職務	0	0	—	—	15	100	係員級
2級	技能職員の職務及び相当の経験を必要とする労務職員の職務	0	0	—	—			
3級	相当の経験を必要とする技能職員の職務又は相当の経験を必要とする労務職員の職務	6	40.0	調理師 公仕	0 5			
4級	相当の経験を必要とする技能職員の職務又は相当の経験を必要とする労務職員の職務	9	60.0	自動車運転手 調理師 公仕	5 1 4			
合 計		15	100		15	15	100	